

# 令和7年度事業計画

## （基本方針）

本県の産業、とりわけ観光関連産業に極めて深刻な影響を及ぼしてきた新型コロナウイルスが、令和5年5月に5類感染症に移行した後も、長引く物価高騰や人手不足等により、観光関連産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いている。

これに対し、当協会では観光関連事業者や市町村観光協会等との連携を強めながら、県と一体となって、県民の宿泊・周遊の促進、隣県や全国を対象とした観光誘客の強化、県内団体も対象としたスポーツ合宿の拡充等、様々な事業に取り組み、観光関連産業への影響を最小限にとどめるよう尽力してきたところである。

令和6年度は、南海トラフ地震の臨時情報が出され、宿泊施設の予約キャンセルなど本県観光に大きな影響を与えたが、「何でも極上！NANGOKUみやざきキャンペーン」に取り組み、本県観光の回復に努めたところである。

このような中、令和7年度においては、本県の観光回復・振興に向け、引き続き、観光関連事業者や市町村観光協会等との連携強化を基本理念に据えながら、本県ならではの観光資源を生かした「周遊・滞在型観光の更なる推進」、「インバウンド需要の積極的な取込み」、「全県化・通年化・多種目化に繋がるスポーツ合宿等の誘致・支援」、「アンバサダーとの連携によるMICEの誘致・受入強化」の4つを軸に取り組むこととする。

とりわけ、韓国や台湾からの直行便等を活用したインバウンドの取込み、屋外型トレーニングセンターや国スポ拠点施設等の整備に伴うスポーツ大会・合宿の誘致に重点的に取り組む。

## （基本理念）

### 関係機関との連携強化

市町村観光協会や観光関連事業者等と緊密に意見交換等を行い、求められる対策等について認識の共有化と相互協力を図り、事業展開に繋げる。

#### ＜主な取組＞

- （１）市町村観光協会会長会議
- （２）観光関係事業者会議
- （３）テーマ別担当者会議
  - ①観光地域づくり関係担当者会議
  - ②スポーツ関係担当者会議
  - ③MICE 関係担当者会議
- （４）会員の集い

## 令和7年度 事業体系





## I 観光振興【 437,180 千円 】

### 1 魅力あふれる観光地域づくり事業

(34,534 千円)

地域を牽引する観光人材を育成し、県、市町村、観光関係団体、観光事業者等と一体となった地域づくりに取り組む。

#### (1) 専門人材による観光地域づくり支援

観光関連団体や宮崎大学等と連携したマーケティングに基づく観光資源の掘り起こしや磨き上げを支援

#### (2) 観光みやざき創生塾

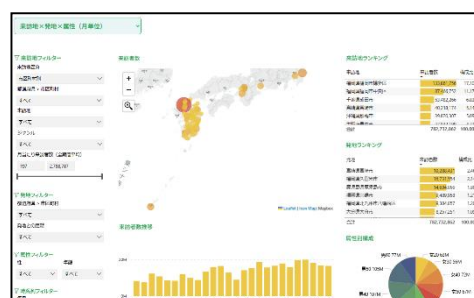
地域の中核となる観光人材の育成を目的とした研修プログラムの実施

#### (3) 観光ガイド研修

県内観光ガイド団体等を対象とした研修の実施

#### (4) 観光地域づくり補助

県内周遊促進を目的とした観光地域づくりの支援



人流データの活用



観光みやざき創生塾

### 2 「日本のひなた宮崎県」情報発信・誘致強化事業

(26,288 千円)

国内旅行者のニーズを踏まえた本県の観光素材等の情報を発信するとともに、国内最大級旅行博への出展等により、本県の認知度向上と誘致強化を図る。

#### (1) 本県知名度向上のためのプロモーションの展開等

- ・ ツーリズムEXPOジャパンへの出展
- ・ 旅行会社等との商談会への参加

#### (2) 旅行会社等と連携した観光誘客事業

大手旅行会社とのタイアップによるプロモーション等



ツーリズムEXPOジャパンの様様

#### (3) HPやSNS等を活用した情報発信事業

- ・ 宮崎県観光情報サイト（日本語・多言語）での情報発信の充実・強化
- ・ JNTO（日本政府観光局）等の外部 Web サイト等を活用した情報発信

### 3 宮崎の強みを生かした観光誘客事業

(48,000 千円)

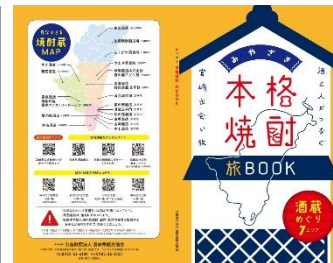
本県観光の再生と更なる活性化を推進するため、本県の強みである5つのS（食、スポーツ、神話、自然、森林）を生かした誘客等の対策を実施する。

#### (1) 食を生かした観光誘客

「食」をテーマとした誘客・周遊  
キャンペーンの実施



デジタルスタンプラリー



本格焼肉旅 BOOK

#### (2) スポーツ、アクティビティを生かした誘客

遊び・体験メニュー等を活用した誘客の実施



#### (3) 5つのS（食、スポーツ、神話、自然、森林）を生かした観光プロモーション

- ・国内交通機関とタイアップした誘客プロモーションの実施
- ・民間事業者との連携によるプロモーションの実施



JRタイアップ事業

### 4 大阪・関西万博を契機とした観光誘客促進事業

(32,000 千円)

2025年の大阪・関西万博の開催を契機とし、本県の魅力を強力に発信するPRや、交通機関等と連携した誘客対策を実施する。

#### (1) 関西エリア広報媒体でのPR

関西大手メディアを活用した本県PR

#### (2) 交通機関と連携した観光プロモーション

大阪・関西便を有する国内交通機関と連携したプロモーションの実施



関西人気情報サイトでのPR

#### (3) 旅行会社と連携した旅行商品造成支援

関西エリアの旅行会社とタイアップした旅行商品造成支援

## 5 九州広域連携観光誘客事業

(4,780 千円)

九州域内の誘客・周遊促進を図るため、隣県や NEXCO 西日本と連携した共同プロモーション等を実施する。

- (1) 大分県との共同観光推進  
東九州広域観光推進協議会の枠組を活用した誘客プロモーション等の実施
- (2) 高速道路を活用した観光誘客推進  
NEXCO西日本の周遊割引企画と連動したキャンペーンへの参加による県内ドライブスポットのPR



大分県との共同イベント

## 6 教育旅行誘致・定着促進事業

(30,450 千円)

行政機関・団体、民間事業者等で構成する宮崎県教育旅行誘致推進協議会において、教育現場のニーズを捉えた誘客プロモーションを展開し、国内外からの教育旅行の誘客を図る。

- (1) みやざき学び旅促進事業  
本県で教育旅行を実施する際、貸切バスの費用及び企画開発費の一部助成
- (2) 新たな教育旅行素材の発掘・提案  
本県ならではの教育旅行素材の発掘、磨き上げ、新たな素材としての提案
- (3) 新たな誘致先の拡充
  - ・九州観光機構や南九州2県と連携した合同キャラバン・セールス
  - ・台湾、香港等をターゲットとした関係者招請や現地セールス

## 7 ユニバーサルツーリズム推進事業

(11,500 千円)

高齢や障がい等の有無にかかわらず、すべての人が気兼ねなく旅行を楽しむことができるユニバーサルツーリズムを推進するため、旅行者や観光事業者等からの照会、相談に対応するほか、ベビーカー・車いすの貸出、旅行者向けの情報発信、観光事業者向けの研修会等を実施する。

- (1) 宮崎ユニバーサルツーリズムセンター運営
  - ・ユニバーサルツーリズム環境調査
  - ・ユニバーサルツーリズムに関する相談対応
- (2) ユニバーサルツーリズム受入促進
  - ・宿泊施設や観光に関するユニバーサル情報の提供
  - ・宮崎空港でのベビーカー・車いすの貸出
  - ・観光事業者に対する研修会の実施



宮崎空港でのベビーカー・車いすの貸出

## 8 みやざき観光カレンダー作成事業

(4,500 千円)

県内各地の魅力的な観光スポット、伝統文化等を伝える観光カレンダーを作成・販売し、観光PRを推進する。



2025 年版カレンダー採用（フォトコンテスト入選）写真

（左）天空に浮かぶ仙人の棚田（表紙）

（中）御田祭（7月）

（右）霧島山の春の風景（6月）

## 9 インバウンド誘客推進強化事業

(245,128 千円)

訪日外国人旅行者数が急増していることを踏まえ、東アジアの重点地域を中心とした誘客を強化するとともに、新たな市場開拓に向けた取組を推進する。

### （1）韓国・台湾・香港対策

- ・国際定期便を活用した誘客プロモーション
- ・現地旅行会社等に対する宮崎空港を活用した誘客への支援
- ・現地旅行会社等に対する県外空港を活用した誘客への支援
- ・県海外事務所、駐在員、代理店等と連携した現地でのセールス、旅行会社等の招請、旅行博出展、等



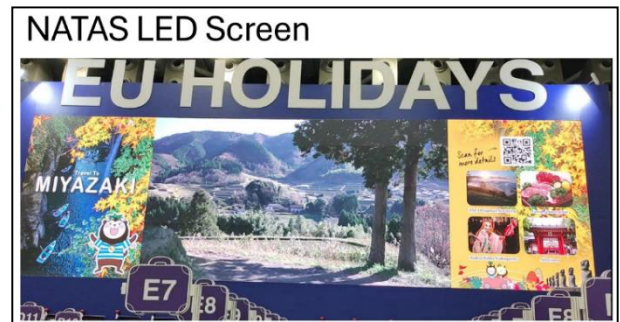
台北駅フェア



韓国旅行博

(2) ASEAN・中国・欧米豪地域対策

- ・シンガポールをメインターゲットとしたプロモーション・セールス、イベントへの出展
- ・航空会社と連携したプロモーション
- ・大阪・関西万博を契機とした観光誘客（イベント出展、旅行商品造成支援）



Natas への出展（シンガポール）

(3) クルーズ対策

- ・専門誌への情報掲載、船会社キーパーソン招請、プロモーション・セールス、富裕層向け旅行商品造成支援、受入対策強化



上海インターナショナルクルーズサミット

(4) 受入環境整備

- ・宮崎県多言語コールセンターの運営
- ・インバウンドに関する研修会の実施



多言語コールセンター広報用チラシ

## Ⅱ スポーツランド推進【158,092 千円】

### 1 スポーツイベント等開催支援事業 (44,400 千円)

国際大会や全国大会など経済効果の高いスポーツイベント等の開催経費の一部を助成支援する。

- ・ MIYAZAKI SURFING GAMES (9月予定)
- ・ ファーム日本選手権、フェニックスリーグ (10月)
- ・ ワールドトライアスロンカップ(2025/宮崎) (11月)
- ・ 第39回青島太平洋マラソン (12月)
- ・ 三大ゴルフトーナメント  
ダンロップフェニックス (11月)、リコーカップ (11月)、  
アクサレディース (3月)

### 2 スポーツキャンプ等受入支援事業 (19,963 千円)

プロスポーツチームや代表チーム等への宮崎牛等の県産品贈呈、市町村が行うキャンプ受入歓迎事業等を支援する。

また、Jリーグキャンプ等でのトレーニングマッチにおける審判手配・派遣を行うなど、受入体制の整備を図る。

#### (1) プロ団体、各競技団体代表等への受入支援（県産品贈呈）

- ・ プロ野球、Jリーグ、ラグビーリーグワン
- ・ ラグビー、トライアスロン、陸上、スピードスケート等の国内外



県産品贈呈・読売巨人軍



埼玉パナソニックワイルドナイツ

#### (2) 受入歓迎

- ・ ボールパークG（巨人軍物産展）、ジャビットバス運行などプロ野球一軍5球団の盛り上げ支援
- ・ エアポートボールパーク2026開催支援
- ・ プロ野球選手とファンとのキャッチボールイベントの開催（宮崎球援プロジェクト）



ボールパークエアポート2025



キャッチボールイベント2025

### (3) Jリーグキャンプ支援

- ・Jリーグのトレーニングマッチに係る審判員の手配や地元審判員育成のための講習会への支援等によるキャンプ地としての受入体制の強化
- ・アミノバイタルトレーニングセンター宮崎を利用するチーム等への交通手段支援

### (4) プロ野球・Jリーグキャンプガイドマップ作成

## 3 スポーツキャンプ・合宿等誘致促進事業

(39,324 千円)

令和6年度に設置した「誘致部会（ラグビー部会、テニス部会、水泳部会、屋内系競技部会）」において大規模大会誘致を目指し、誘致セールスを実施するとともに、「ひなたスポーツ観光ステーション（ワンストップ窓口）」を活用し、スポーツイベントやキャンプ・合宿の「全県化」、「通年化」、「多種目化」に向けて旅行代理店、実業団等を対象に誘致セールスを実施する。

また、宮崎県ラグビー協力会において、県・各市・関係団体と一体となってラグビーリーグワンチームの合宿誘致セールスを実施する。

- ・競技ごとの誘致部会、ワンストップ窓口を通して大規模大会、合宿を誘致
- ・スポーツ合宿誘致セールス（関東、関西・中部、九州）
- ・スポーツランド推進コーディネーター活用による誘致推進
- ・スポーツランドみやざき推進担当者会議実施（県内9ブロックで開催予定）
- ・韓国人サーファー誘致、サイクルツーリズム、武道ツーリズム推進
- ・合宿等会場から県内観光地間の周遊促進事業



韓国人インフルエンサーファムツアー



ニカラグア共和国 WBC 代表キャンプ

#### 4 アマチュアスポーツ合宿・イベント支援強化事業 (54,405 千円)

本県で合宿するアマチュアスポーツ団体に補助金を交付するとともに、アマチュアスポーツ大会の本県開催実現のために補助金を交付する。

また、スポーツイベントやキャンプ・合宿の「全県化」、「通年化」、「多種目化」に向けた大学等を対象にした誘致セミナーを実施する。

- ・アマチュアスポーツ合宿支援強化事業
- ・アマチュアスポーツイベント開催支援事業
- ・スポーツ合宿誘致セミナー



スポーツ合宿誘致セミナー（大阪）



合宿・イベント支援事業チラシ

### Ⅲ MICE推進【 56,208 千円】

#### 1 MICE推進体制強化事業 (2,966 千円)

MICEを推進するための会議・研修や情報収集を行うとともに、本県でMICEを開催される団体への歓迎支援を行う。

##### (1) 体制整備

宮崎県内MICEの機運醸成のための会議やセミナーの実施

##### (2) 会議・研修

MICE情報の収集や職員のスキル向上のための日本政府観光局（JNTO）主催研修等への参加及び九州・沖縄地区MICE推進団体連絡会など、MICE関連団体との情報交換

##### (3) 歓迎支援

歓迎看板設置や郷土芸能披露の支援の他、バナー・横断幕の貸出、観光パンフレット・飲食店ガイドマップ等の提供



## 2 MICE誘致強化事業

(7,292 千円)

本県へのMICE誘致を強化するための各種セールスの実施や商談会等への参加及び誘致懇談会を実施する。

### (1) キーパーソン招請・事前視察支援

MICE開催地決定に影響力のあるキーパーソンやインセンティブ旅行等を扱う国内外の旅行業者の招請及び補助金交付による事前視察の支援。宮崎のMICE施設や観光地等の現地視察体験を通じ開催地決定に導く。

### (2) MICE個別誘致セールス（国内・海外）

大都市圏の学術会議事務局や大学、企業、さらに県内の大学や各種団体等への定期訪問を強化。また、韓国・台湾セールスの継続



台湾 MICE 個別セールス

### (3) 見本市・商談会出席

国内外で開催されるMICE商談会等に参加し、開催補助金等の支援内容を説明。国内・海外MICE、訪日インセンティブ旅行の誘致促進

### (4) MICE誘致懇談会

学術会議等の主催者や大学・企業関係者、旅行取り扱いエージェントなどを対象に懇談会を開催。開催補助金制度の説明や県内MICE施設の紹介及び情報交換会を行い、MICE誘致に繋げる。



令和6年度宮崎県MICE誘致情報交換会 in福岡

### 3 MICE開催支援事業 (45,950 千円)

MICE開催補助金交付要綱の基準を満たす九州規模以上の大会等に対して補助金を交付



ICMLC&ICWAPR 2024



CMB-Next2024

#### <令和7年度開催予定の主なMICE>

- 某生命保険会社インセンティブ  
7月7日～11日 延べ参加者 10,400人 県外延べ宿泊者 10,400人泊
- 某電気機器メーカー周年記念式典  
7月11日～13日 延べ参加者 600人 県外延べ宿泊者 1,200人泊
- 日本獣医学会 宮崎大会  
9月2日～4日 延べ参加者 3,000人 県外延べ宿泊者 1,900人泊
- 某生命保険会社研修会  
10月21日～24日 延べ参加者 2,700人 県外延べ宿泊者 2,700人泊
- 部落解放研究第58回全国集会  
11月10日～11日 延べ参加者 6,000人 県外延べ宿泊者 2,000人泊
- 某製薬会社キックオフミーティング  
1月6日～9日 延べ参加者 1,140人 県外延べ宿泊者 1,140人泊
- 某医療機器メーカーキックオフミーティング  
2月14日～15日 延べ参加者 1,600人 県外延べ宿泊者 1,250人泊

# IV 協会運営活動

## 1 会員の集い

賛助会員に対し、当協会の活動への理解を深めてもらうとともに、会員相互の情報交換を促進するため、「会員の集い」を開催する。



## 2 ニュースレター

当協会の日頃の活動を報告する「ニュースレター」を作成し、賛助会員、協会役員等に対し送付する。



## 3 観光功労者表彰

賛助会員等からの推薦に基づき、観光関連業務に顕著な功績がある方々に対し表彰を行う。

また、日本観光振興協会九州支部に対し観光功労者の推薦を行う。



宮崎県観光協会観光功労者表彰

## 4 理事会・評議員会

必要に応じ理事会、評議員会を開催する。